

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

8.15

目次	
「しみんの広場」 広報サポーターだより ー上海万博体験ルポー 地域の話 市民活動を応援するページ	2
スクールリポート 学校生活の一コマを紹介	6
たはらしティニュース	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

どこにいるかな？
ゴーヤとわたし！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 地域の話題（赤羽根校区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



広報サポーターだより

すごい人すごい規模！上海万博体験レポート

こんにちは。広報サポーターの山内真由美です。私は中国の上海生まれ。皆さんご存じのとおり、現在、2010年上海国際博覧会が、10月31日（日）まで上海で開催されています。里帰りを兼ねて、上海万博に行つて来ました。



山内真由美

日本館で和の魅力を感じ

日本館は、水資源や地球環境問題に取り組む活動や技術などを紹介するパビリオンです。愛称は「紫蚕島」で、中国語では「ズーツァンダオ」と読みます。蚕は、中国では不老不死の象徴とされています。

パビリオンは3つのゾーンに分かれていて、中国文化と交流しつつ発展してきた日本文化の展示、自然との共生を特色とする日本文化の紹介、「トキ」をモチーフとしたミュージカルの会場となっています。

私はこの中で、ミュージカルが一番気に入りました。「昆劇」と日本の伝統芸能「能」が合わさった、日中共同演出のライブミュージカルです。「昆劇」とは、田原市の友好都市である中国の昆山市の伝統芸能ですので、より親しみを持つて見る事ができました。

上海万博へ

中部国際空港から飛び立ち、約2時間上海空港へ到着。私の実家は、空港から車で40分くらいの所にあります。2年ぶりの上海でしたが、帰国するたびにあちらこちらが変わってきています。

私は、上海万博の会場へ3日間通いました。今、中国の学校は夏休み中（7～8月）ですので、本当にたくさんの方がいました。

上海万博のテーマは、「より良い都市、より良い生活」で、246の国・機関が参加しています。私は、中国国家館と日本館にはどうしても入りたかったので、暑いなかすごい人の列に家族で手分けして並びました。



● 中国国家館



● 日本館



●大韓民国館



●イスラエル館(左)



●ウズベキスタン館



●カザフスタン館



●ベトナム館



●マカオ館

♥面白かったパビリオン紹介

★カザフスタン館

テーマは「アスタナ～ユーラシア大陸の心」。館内には、カザフスタンの過去と現在と未来が展示されているそうです。

★ウズベキスタン館

テーマは「ウズベキスタン:文明の合流」。パビリオンの外観は波の形をした鏡面の構造を用い、光と影の変化によって色が変わります。

★イスラエル館

テーマは「イノベーションで生活をより素晴らしくー自然・歴史・未来と対話ー」。建物は流線型で環をつかった両手や貝に似ています。

※中国の宋代の都を描いた絵巻物で、都城内外のにぎわいの様子などを伝える歴史的にも貴重な資料です。

このほかにも、北京館、天津館、河北館、山西館、内モンゴル館、吉林館、黒龍江館など中国の各省の館が並んでいました。

館内の大型スクリーンには、北宋時代の国家級の名画といわれる「清明上河図」が再現されていました。1000年も前の有名画に描かれた人物などが、まるで映画のように動き、古代人の知恵が伝わってきました。

中国 国家館で歴史を再認

中国国家館のテーマは、都市発展における中華の知恵です。中国文化の精神や気質が表現されています。パビリオン(写真右上)の写真は撮ったのですが、あまりにも大きくて写真には全体が入りません。下のほうに小さく写っているのが来場者ですので、どれだけ大きいのが分かると思います。

上海市場で見つけた食べ物

スケールの大きな上海万博。たくさんパビリオンだけでなく、世界各地のごちそうを味わえるのも楽しみの一つです。さまざまな国の歴史や文化を体感し、環境保護や都市発展のための知恵も学ぶことができました。



日本で見られるライチは、小さくて冷凍した物が多いですが、上海のものは直径5cmほど。中身は白濁色、寒天状で甘くおいしいです。クエンは固い皮に包まれた2cmほどの木の実で、甘くてさわやかな味がします。特に、お産をするときには「力になる」といわれています。



●ビーンタン(左)とお菓子



●ライチ



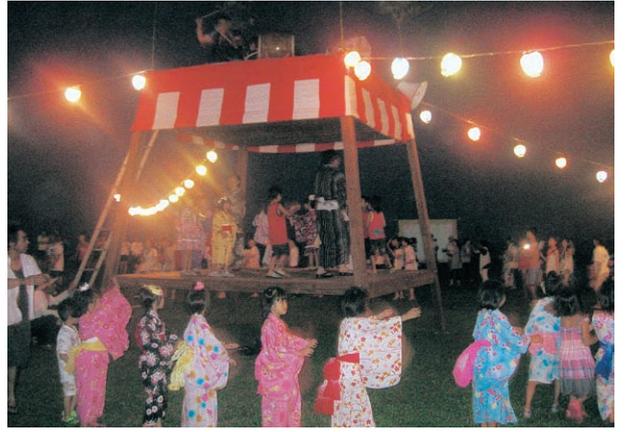
●ビーンタン菓子



●クエン



▲にぎわう夜店



▲和やかな盆踊り

地域の話題

赤羽根校区

「祭り」ではぐくむ郷土愛

雄大な太平洋に面し、赤羽根漁港や道の駅あかばねロコステーションのある赤羽根校区。今年から始まった「赤羽根夏祭」について、校区総代さんからお便りが届きました。

地域発!

私 たちの赤羽根校区では、平成19年3月に策定した校区まちづくり推進計画に基づき、地域活性化のためのさまざまな取り組みを行っています。今回、ふれあいのあ

るまちづくり事業の一つとして、「赤羽根夏祭」を開催しました。

海辺で楽しむ 夏の宵

梅雨が明け、夏祭りに絶好の天気な恵まれた7月17日（土）夜、赤羽根ロコパーク（赤羽根西海岸）と道の駅あかばねロコステーションで開催した「赤羽根夏祭」には、約5000人が訪れました。この祭りは、地域の交流、校区コミュニティ意識の高揚と地域の人材育成を目的

に、今年から始めたもので、盆踊り大会を中心に、太鼓、ライブ、夜店、ライブペインティング、おたのしみ抽選会、BMXショー、手筒花火などを催しました。

道の駅あかばねロコステーション前では、商工会などによる夜店が開かれ、ゲームやジャンケン対決にたくさんの子どもたちが集まりました。また、うどんやだんご、焼き鳥などのお店の前にも、長い行列ができました。

盆踊りを行った広場の中央には、立派なやぐらを建て、その周りには幾重にも人の輪ができました。浴衣姿の人も多く、みんな楽しそうに踊って、大いに盛り上がりました。



▲盛り上がった手筒花火

祭りの最後には、手筒花火を揚げ、大きな音に降り注ぐ火の粉、そして最後に響く爆音に、観衆からひととき大きな歓声が上がりました。
ふるさと祭りの意義
この「赤羽根夏祭」は、赤羽根校区コミュニティ協議会、田原市商工会、田原市サーフィン協会など地域の諸団体が一体となって開催したものです。すそ野の広い、手づくりの祭りとして成功したと思います。
地域の人々の連帯感や、幼い子どもたちの郷土愛を深めるためにも、こうした「ふるさと祭り」の持つ意義は大きいと考えています。



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

田原JC～『地域の魅力TAHARA箱』



▲「地域の魅力TAHARA箱」は、田原文化会館文化ホール前に設置中

ご利用ください！“渥美半島の魅力の発信源”

私たち社団法人田原青年会議所（田原 JC）は、4月26日（月）、田原文化会館へ『地域の魅力TAHARA箱』を設置しました。この箱には、市内全20校区の歴史・文化・産業・観光資源など地域の魅力や宝となる情報を、カードに記して収めてあります。皆さんが、自分の住む校区の魅力や他の校区の魅力を知り、もっと渥美半島に愛着を持っていただけることを願い、企画しました。

カードは、自由に見ることができます。また、備え付けのカードに皆さんが情報を書いて、箱に応募することもできます。田原文化会館にお越しの際は、ぜひ『地域の魅力TAHARA箱』の引き出しを開けてみてください。

▶（社）田原青年会議所 ☎ 23局 2740

🌐 <http://www.taharajc.jp/>

イベント情報

市民活動ニュース

➡このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
9/4 土 19:00～	第41回あつみロビーコンサート ～ジャズナイト・イン・アツミ～	渥美文化会館 多目的ホール&ラウンジ * 1000円（ドリンク付）	あつみロビーコンサート事務局 ☎ FAX 32局 3963（森下）
9/5 日 14:00～	第9回サロンコンサート ～ショパン・ピアノコンサート～	田原文化会館多目的ホール * 一般前売 1300円 （当日 1500円） * 高校生以下 500円	田原市楽友協会 ☎ 22局 0666（森下） ☎ FAX 23局 2683（金子）

募集情報

どすごい交流会実行委員会の委員を募集中！

東三河市民活動推進協議会（田原・豊橋・豊川・蒲郡・新城の東三河5市で構成）が開催する、市民活動団体の交流会『どすごい交流会』の企画・運営に参加していただける方を募集しています。

- 募集人員 10名（東三河全体）
- 対象者 市民活動を行っている方および興味のある方
- 活動内容 実行委員会（平日夜・月1回程度）への参加と、交流会の企画・運営
※開催時間は実行委員の話し合いにより決定・変更を行います。
- その他 謝礼・交通費などの支給はありません。
- 応募方法 9月17日昼までに、任意の用紙に住所・氏名・性別・年齢・連絡先を記入のうえ、直接またはFAX・Eメールにて
- 応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 FAX23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

1 NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週金・土・日曜 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

2 このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111（内線812）※ 開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 25

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、相撲による体力づくりや地域に伝わる踊りを通してふるさと教育、「魅力ある学校づくり事業」で整備した自然のさとをご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

大草小学校「大草場所」

本気のぶつかりあい はっけよいのこった！

大草小学校には、市内唯一の土俵があり、年3回、同小学校児童による『大草場所』を開催します。第1回は「健康相撲体操」から始まり、全校児童が紅白に分かれた縦割り班対抗の相撲を行います。第2回は、現役力士を招いての「ふれあい相撲」です。大きなお相撲さんを前に、臆することなく挑む子どもたちには驚かされます。第3回は、運動会での全校男子児童による紅白戦です。今までの練習の成果が表れる結びの一番で、観客も応援に力が入ります。相撲を通して、子どもたちに体力づくりだけでなく、日本の文化や伝統も学んで欲しいと願っています。



▲昨年の運動会の紅白相撲

泉小学校「泉音頭」

みんなで踊ろう！ みんなでつながろう！



▲みんなで輪になって踊る様子

泉小学校では、地域への愛着とふるさと泉を誇りに思う心をはぐくむため「ふるさと教育推進事業」に取り組んでいます。泉地区に昔から伝わる泉音頭は、以前は盆踊りで盛んに踊られていたそうですが、今では踊る機会も少なくなってきました。昨年9月の保・小・中合同運動会で、みんなで踊ろうと取り入れたところ、「懐かしかった」「うれしかった」「来年も一緒に踊りたい」などの声が寄せられました。9月18日(土)に開催する合同運動会では、もっともっと大きな踊りの輪が広がるようにしたいと思っています。

六連小学校「自然のさと」

「魅力ある学校づくり事業」自然とふれ合おう

六連小学校では、子どもたちが生き生きと楽しく活動できる場所として、運動場の南側に池や小川を整備したり、畑を作ったりしました。池の水面を覆っていたハスを取り除くと、ゆうゆうと泳ぐコイやフナ、底を歩くザリガニの姿も見られるようになりました。小川にも小さな生き物がいっぱいいます。放課になると、子どもたちが池や小川の周りに集まり、「ザリガニだ」「ヤゴもいるよ」などと目を輝かせ、楽しそうに話す大きな声が聞こえてきます。身近な自然にふれる機会が増え、子どもたちは生き物の成長を通して季節の変化を感じ、自然の大切さを学んでいます。



●自然のさとで生き物を観察する子どもたち

7月24日(土)

気分はすっかり
縄文人!?



▲縄文式住居の前に、完成の喜びで笑みがこぼれる参加者たち

縄文体験イベントがシエルマよしごで開催され、7組15名の親子が参加しました。竪穴式住居を作ったり、黒曜石の刃物で料理を作ったりと、額に汗を浮かべながら縄文人の苦労や生活の知恵を体験したこの催しは、便利な現代の生活を見直すきっかけとなったようです。

7月25日(日)

みんなで参加!
エコに親しむ



▲牛乳パックでキャンディボックスなどを作る参加者たち

あつまれ!!得するサマーフェア2010が田原文化会館1帯で開催されました。エコ関連企業のブースが展開した「たはらエコエネルギーフェスタ」をはじめ、「あいちいきものキャラバン隊」「工作教室」など、約6000名の来場者で終日にぎわいました。

7月24日(土)

日ごろの訓練の
成果を競う



▲「小型ポンプ操法の部」において、9位と健闘しました。

第55回愛知県消防操法大会が愛知学院大学グラウンド(日進市)で開催され、田原市消防団代表の赤羽根分団が出場しました。【出場メンバー】大武功治(指揮者)・伊藤康文(1番員)・杉原斉(2番員)・杉原大輝(3番員)・藤目裕也(補助員) / 敬称略

おしらせ				
INFORMATION				

MEMBER OF COMMITTEE

委員

人権擁護委員

新しい人権擁護委員に、鈴木敏男さん（大草町）と小野忠弘さん（高松町）が法務大臣から委嘱されました。任期は平成22年7月1日から3年間です。

▼福祉課

☎23局3512 FAX23局3545



WANTED

募集

田原市臨時職員 (臨時保育士)



▼募集人員 若者 千名 ▼対象 保育士資格がある方 ▼採用期間 平成23年3月31日まで
▼勤務場所 市内保育園 ▼勤務形態 月々金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時 ▼賃金 時給1100円 ▼申し込み 9月13日（月）までに子育て支援課にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出 ※詳細はお問い合わせください。
▼子育て支援課
☎23局3513 FAX23局3545

普通救命講習会 受講者

愛する家族や友人が、目の前で倒れたとき、あなたは何かができますか？命を救う心肺蘇生法とAEDエーイーディー（自動体外式除細動器）の取り扱いを学ぶ普通救命講習会を開催します。

▼対象 市内在住・在勤・在学の方
▼日時 9月11日（土）午前9時～正午 ▼場所 渥美文化会館（旧中央公民館） ▼定員 20名（先着順）
▼受講料 無料 ▼申し込み 9月10日（金）までに直接または電話・FAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号・職業を明記）
▼その他 講習を修了した方に修了証を交付
▼消防署渥美分署
☎33局0119 FAX32局2479
✉aumnib@city.tahara.aichi.jp



第4・5回危険物取扱者試験

▼種類 第4回：乙種全類・丙種、第5回：乙種第4類・丙種 ▼対象 一般 ▼試験日 第4回：10月10日（日）、第5回：10月31日（日） ▼場所 名古屋市内 ▼申し込み 9月6日（月）～15日（水）の期間に消防本部（市役所南庁舎3階）または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入して提出 ▼その他 テキスト、事前講習会および電子申請についてはお問い合わせください。
▼消防課
☎23局4074 FAX23局0180

全国なぎさシンポジウムin愛知

人と海の接点である「なぎさ」を通じて、その役割と大切さを認識し、豊かで美しい「なぎさ」を守り再生する方策について講演や活動報告などを行います。

▼日時 9月9日（木）午後1時～5時（開場：午後0時30分） ▼場所 豊橋市公会堂（豊橋市八町通二丁目22番地） ▼内容 ①基調講演：国土交通省河川局海岸室長 ②特別講演：九州大学大学院准教授 清野聡子氏 ③活動報告：NPO法人表浜ネットワーク代表 田中雄二氏 ④パネルディスカッション：テーマ「愛知のなぎさ～遠州灘から～」 ▼定員 600名 ▼参加料 無料 ▼その他 事前の申し込みは不要です。なお、駐車場に限りがありますので、公共交通機関などをご利用ください。



▼愛知県建設部河川課

☎(052)954局6556

HP <http://www.pref.aichi.jp/kasen/>

■ 割引内容一覧

市町村	施設名	料金(円)		
		通常	割引後	
豊根村	茶臼山高原	リフト往復券	500 無料	
伊勢市	おかげ横丁内 おかげ座	大人	300 200	
		小人	100 50	
	ちょんまげワールド 伊勢・安土桃山文化村	入村手形	大人	2500 2250
			中高生	1200 1080
			小学生	900 810
	二見プラザ 二見シーパラダイス	通行手形	大人	3900 3510
			中高生	2500 2250
			小学生	2000 1800
	二見プラザ 二見シーパラダイス	大人	1300 1170	
		小中学生	600 540	
		幼児(3歳以上)	300 270	
	賓日館	大人	300 270	
小人		150 100		

※ほかの割引サービスとの併用はできません。
伊勢河崎商人館では、フェリー利用者を対象に、特典として問屋グッズをプレゼントします。いずれもフェリー乗車券の半券(領収書)をご提示ください。

詳しくは、田原市観光協会ホームページをご覧ください。



http://www.taharakankou.gr.jp/

生活

フェリー利用で施設利用料を割引

フェリー利用当日を含む2日間に限り、乗船券の半券(領収書)を提示すると割引などが受けられる施設が増えました。

▼期間 9月30日(木)まで
▼割引施設など 表のとおり

▼田原市観光協会(商工観光課内)
☎ 23局3516 FAX 22局3817

愛知県防災航空隊ヘリコプター合同訓練を行います

9月8日(水)の午前9時~正午ごろまで、赤羽根文化広場で消防署が愛知県防災航空隊ヘリコプターとの合同訓練を行います。



訓練当日は、安全のため一時的に周辺道路の通行制限を行いますのでご協力をお願いします。なお、雨天や荒天の場合は中止します。

▼消防署赤羽根分署
☎ 45局4119 FAX 45局4120

弁護士による

東三河県民生活プラザ法律相談

消費者問題・多重債務などで困りの方、一人で抱え込まずにご相談ください。秘密は厳守されます。

▼日時 9月16日(木) 午後1時~3時(要予約/相談時間は30分程度)

▼場所 田原福祉センター相談室

▼相談料 無料 ▼申し込み 電話にて

▼福祉課
☎ 23局3512 FAX 23局3545

特定健康診査を必ず受診しましょう

日本人の死亡原因の6割は、高血圧や脂質異常などの生活習慣病です。生活習慣を見直すことで、メタボリックシンドロームも予防することができます。対象者には受診券が郵送されていますので、自分の健康を守るためにも必ず受診しましょう。

▼期間 12月31日までの診療時間内

▼場所 市内指定医療機関 ▼持ち物 受診券・保険証 ▼費用 自己負担分は無料 ▼その他 健診はなるべく空腹で受けましょう。受診券を紛失された場合は再発行します。

お早めにご連絡ください。

▼保険年金課

☎ 23局2149 FAX 23局4270

高齢者・障害者の人権などの悩みごとを相談ください

▼日時 9月6日(月)~12日(日) 午前8時30分~午後7時(土・日曜日は午前10時~午後5時) ▼相談担当者 人権擁護委員

◆相談専用電話

☎ (052)952局8200

▼名古屋法務局人権擁護部

☎ (052)952局8111

緊急の事件・事故以外のご相談は警察総合相談窓口へ

9月11日(土)は、「警察相談の日」です。緊急の事件・事故以外のご相談は、110番通報ではなく、警察総合相談窓口をご利用ください。

●警察総合相談窓口

警察相談専用電話 ☎ 9110

田原警察署 ☎ 23局0110

※「#9110」は、ダイヤル回線の電話や一部のIP電話からはつながりません。警察本部住民コーナー直通電話へおかけください。

☎ (052)952局0110

▼田原警察署警務課

☎ 23局0110 FAX 22局9737

広がる未来へ

52

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●太陽光発電設備の導入状況

平成22年3月末までに、市内50の公共施設に、合計221.70kWの太陽光発電設備を導入しました。平成21年度は、福江市民館に10.0kW、田原駅南公共駐車場の照明に0.34kW（0.17kW×2基）、緑ヶ丘住宅集会所に5.50kWの設備を導入しました。一般住宅への太陽光発電設備の導入量は、754件で合計2900.90kWになります。発電設備の総導入量は3185.99kWで、1年間のCO₂（二酸化炭素）の排出削減量は、約2561t-CO₂となり、原油に換算すると約1000kl（ドラム缶約5000本分）に相当します。

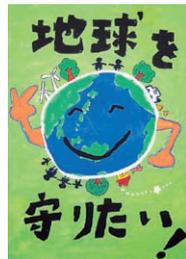
田原駅南公共駐車場の照明は、風力発電とのハイブリッドです。パネルに手をかざすと発電量が表示されますので、ぜひ発電量を実感してみてください。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人909人・事業所54か所（7月末現在）

●地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校高学年の部
宇治野優也くん（田原中部小学校）



●小学校高学年の部
井本汐音さん（亀山小学校）



●中学校の部
藤井志保里さん（赤羽根中学校）



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源のリサイクル

もやせるごみの約3割は生ごみで、その70〜80%が水分といわれています。生ごみに含まれる水分量を減らして、ごみを減量しましょう。

生ごみを捨てる前に水分をしょうろう！



昨年度、処理された生ごみは約5244tで、その約80%が水分とすると、約4000tもの水分が燃やされていることになります。

一世帯当たり、一日に大きじ3杯分の水切りをしたとすると、市全体で一年間に3533tのごみを減量することができます。特に夏は、水分を多く含んだ生ごみが出されやすい季節です。水分をギュッとひとしぼりしてから、生ごみを捨てるようにしましょう。



最後のひとしぼりがポイントです！

水切りの効果は？



ごみを減量できるほかにも、いろいろな効果があります。

●悪臭防止

生ごみに含まれる水分が多いと、腐敗しやすく悪臭の原因になります。水分を減らすことで、悪臭を軽減させることができます。

●ごみ処理施設の燃焼効率があがる

水分量を減らすことで、熱効率がよくなり、機械の負担も減らせます。

ちょっとした工夫や手間で、ごみを減量することができます。すぐにできることから始めましょう。

清掃管理課

☎23局355008

FAX23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー



28

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎23局3507

姉妹都市 設楽町 みつはし とよくに 三都橋・豊邦交流センター

山や川などの自然を満喫できる、2つの交流センターをご紹介します。

●交流センターってどんなところ？

豊川上下流域交流促進を目的に、廃校になった設楽町の小学校を田原市が借り上げている施設です。

●利用方法は？

- 対象 田原市民 ※営利目的での利用は不可
- 活用方法 キャンプ、バーベキュー、スポーツなど
- 料金 無料(電気、水道などの使用料も無料)
無料レンタル品あり(ワンタッチテントなど)
- 申し込み 各交流センター会長へ電話にて(午後8時まで)

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 丸山正勝さん	☎(0536)64局5499

※利用日当日に、交流センターで申込書に記入



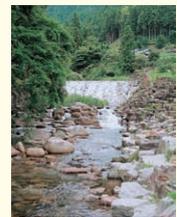
▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

●周辺のおすすめスポットは？

三都橋交流センター前の坂を上がれば、「栗島河川公園」があります。豊邦交流センター裏にも川があり、階段を下りれば、すぐに遊ぶことができます。水遊びスポットは市ホームページでもご紹介しています。



▲栗島河川公園

※両交流センターの詳細は、ホームページの公共施設案内をご覧ください。

☎<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

平成5年に起きた、奥尻島での津波被害の教



◆「津波見物」は絶対しない！
平成10年、沖縄県の石垣島沖でマグニチュード7.6の地震が発生。気象庁は石垣島に津波警報を発令しました。ところが、高台へ避難せず、カメラを片手に海岸沿いに集まり津波見物をする人がいました。さいわい、津波がとてもし小さかったため、被害はありませんでした。

▼防災対策課 ☎23局3548
※「津波被害を防ぐために」として、ご紹介してきましたが、今回でこのシリーズは最後です。

◆俗説を信じず、正しく情報収集
昭和57年に日本海中部地震が発生し、海岸付近にいた人々が津波にさらわれるなどの被害が多く発生しました。
この地震が発生するまでは、「日本海側には津波はない」という俗説があったため、津波への警戒心が不十分だったと指摘されています。
根拠のない俗説に惑わされず、テレビやラジオなどの津波に関する情報に耳を傾け、正確な情報入手しましょう。



かんちゃん

防災まめ知識

63

津波被害を防ぐために④ 過去の教訓を忘れずに



忍びよる巨大地震

こんにちは、かんちゃんです。「津波被害を防ぐために」として、シリーズでご紹介しています。押し寄せる津波から身を守るには、前回ご紹介したようにとにかく避難することです。津波被害を最小限にするために、過去の教訓から学ぶことも多くあります。

訓は、残念ながら生かされていませんでした。

歴史探訪

クラブ! 其の113

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

500年余り続く伝統

二七の市

古い倉庫を調べたら、古い冊子が
見つかりました。それは、田原中部
小学校の郷土クラブが、昭和35年8
月2日に二七の市について調べたも
のでした。

二七の市は、戦国時代、田原城下
町ではじめられた六斎市ろくさいいち（月に6回）
がルートといわれています。昭和34
年9月ごろまで、旧国道などで開か
れていたのですが、車が多くなった
ため安全な船倉橋西広場ふねくらばしひろばあつみの
郷（旧渥美病院）北側く松下公共駐
車場（昭和57年）へと開催場所を変



●昭和初期の市の様子(柳町通り・田原町)

えていきました。そして平成21年10
月17日に、街の中心市街地「セント
ファール」に場所を移しました。
さて、当時の小学生が調べた記
録によると、昭和35年は240軒の
出店がありました。また、それ以前
は昭和10年に291軒、昭和13年に
323軒、昭和23年に248軒の出
店が記録されています。また、昭和
16年の子ども作文によれば、現在
の旧国道沿いに、出店が町の端から
端まで1kmに及ぶときもあったそう
です。一番多く売られていたものは、
野菜・果物類で、各年8割以上を占
めています。野菜は「なす、きゅう
り、かぼちゃ、じゃがいも、玉ねぎ、
さといも、さつまいも、なんば、な
んばとう、ま
め、とうがん、
しそ、白さい、
*果物は「すい
か、きなうり、
まくわうり、
トマト、メロ
ンうり」で、
懐かしい呼び
名も見られま
す。また「か

ぶと虫」も売られていました。



▲昭和51年の市の様子

これは、旧国道から移転した翌年
の調査で、「交通上の問題はある程度
排除できたが、今回の所は場所がせ
まく、混雑度は以前よりひどくなっ
ている。何とか対策を打って伝統あ
る田原の市を正しく運営し、購置者、
販売者共に便利なように図る必要が
ある」(原文ママ)と鋭い意見を述
べています。意外に二七の市の記録
は少なく、この小学生が書き残した
記録は貴重なものです。

市には特別な施設はなく、農家や
商店の方たちが広場に集まり、露天
に店を広げ、市を開きます。今も季
節の野菜を中心とした店が並びます。
しかし、どんなものでも手に入るこ
の時代に、このような素朴な市が続
いていることは不思議です。二七の
市は、宗教行事を除けば500年余
り受け継がれている田原で最も古い
伝統と言えます。現在、市が開かれ
ているセントファールは現代的な商
業施設なので、ここで伝統ある市が
開かれることも不思議な気がします。
現代的なディスプレイに似合わない
素朴な商品が多いなか、市には決し
てお金では買えない何か不思議な魅
力があるのでしょうか。(増山)

*このときの調査では、果实的野菜も果物
として記録されています。

今月の「表紙」

▼2階まで立派に伸びた
ゴーヤのエコカーテン。お
世話をしている子どもた
ちが、葉っぱの陰からひよこり
と顔をのぞかせてくれました。す
ると、口々に「臭い〜!」の大合唱。
私もそおと顔を近づけると、独
特の香りがぷん。ゴーヤの香り
を初体験した子どもたち。いろん
な表情を見せてくれました。(O)
【表紙の写真】ゴーヤのエコカーテン(中部保育園)